

事業所名

児童発達支援 菜の花

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

31 日

法人（事業所）理念		高齢・障がい・小児と年代を問わず、地域住民の皆様が安心して暮らせるよう、社会資源の一部となり、地域社会に貢献する。		
支援方針		○子どもたちの未来を見据えた支援 1人1人にはたたくましく生きる力を育む支援が必要だと感じています。 そのためには普段の生活の中で『できた。』ときの気持ちや自己肯定感がたくましく生きる力に繋がっていくため、常に1人1人に最高の笑顔で、愛情で支援に努めていきます。		
営業時間		平日：9時30分～18時30分 土日祝日、長期休暇：8時15分～17時15分	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な心身状態の把握（視診・検温・バイタル測定等）、家庭からの申し送りやその日の様子に応じた支援をしていく。 睡眠、食事、排泄、衣服の着脱等の生活習慣形成支援、適切な医療的ケアの実施。 緊張の強い時はマッサージを行ったり、リラックスして過ごせるよう支援していく。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 個々に合わせた機能訓練の実施。 五感を育むことを中心とした感覚・感触遊びを通して様々な経験を積み重ね、基本的な身体の動かし方や日常生活動作に繋げられるよう支援していく。 側弯予防、拘縮予防に努めストレッチやポジショニングを行っていく。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 活動前に見本を見せたり、実際の物を見せることによって、イメージをもたせ見通しが作れるように支援していく。 選択肢を作ったりし、本人の意思決定を大切に支援していく。 絵カードを使ってわかりやすく示していく。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 表情や声などで自己表現ができるように支援していく。 自己表現を汲み取り、代弁し気持ちを確認して共感できるように支援していく。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> たくさんの人と関わりが持てるように支援していく。 活動を通してお友だちや職員と触れ合ったりしながら楽しく過ごせるように支援していく。 		
家族支援		各ご家庭等と連携を取りながら相談援助を行う。	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 家庭への情報共有や移行先との連携 就学に向けて各関係機関との連携
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事に参加したり、関わりをもつ機会を作っていく。 併設の高齢者デイサービス7や認可外保育所との交流を図る。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 内部、外部研修に参加し、情報共有を行う。 月に1回、職員会議を実施し多職種での意見交換、改善等を行う。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 季節の制作、活動（お花見、こいのぼり制作、母の日制作、父の日制作、七夕制作、お月見泥棒、ハロウィン、運動会、クリスマス会、お正月飾り作り、節分制作、豆まき、ひな祭り制作、卒業式、お出かけ、誕生会、クッキング） 避難訓練（地震、火災）・秋まつり（地域交流） 		